

平成26年8月17日
今週のベストショット



青松園A レッドサンデーズ 対 三苦三球会戦
三打数三安打の三球会二番藤澤選手が鋭い打球を打ち抜く！
写真：ブルーマーリンズ 井手翔一郎

奈多グラウンド ウインズ藤田投手、自責点0ながら・・・

新町パイレーツ（3勝3敗1分）000201 3 吉田△-小黑
新町ウインズ（4勝4敗2分）300000 3 藤田△-今林

3BH：吉田（新町パ）長岡（新町ウ）盗塁：藤田（新町ウ）

昨日の雨でグラウンドコンディションが悪い中試合開始。ウインズ藤田投手は、初回パイレーツ一番小黑選手を三振にするなど三者凡退で順調な立ち上がり。一方のパイレーツ吉田投手はウインズ一番長岡選手に右中間を破る三塁打を浴びピンチを招くと、二番安藤選手がサードエラーで一三塁。一死後、四番野田選手のピッチャーゴロの間に長岡選手がホームインし1点を先制すると、続く藤田選手のタイムリーとエラーで3得点。四回表、パイレーツ先頭の三番桐島選手がエラーで出塁すると、四番山本選手のセンターライナーをウインズ途中出場の永瀨選手が後逸し、桐島選手が一気にホームイン。山本選手も三塁へ。続く五番吉田選手のショートフライを長岡選手が落球し、山本選手がホームイン。後は倒れたもののノーヒットで2得点。最終回パイレーツの攻撃は先頭の吉田選手が右中間三塁打を放つと、中継のウインズ長岡選手がサードへの暴投でバッターランナーの吉田

選手が労せずホームインし、土壇場で同点に追いつく。その裏ウインズは、安藤選手がエラーで出塁するも後続が倒れゲームセット。ウインズ藤田投手は、自責点0ながら3失点の引き分け試合となった。

(記事、写真：奈多フェニックス 太田敏治)



一回裏、三塁打を放つウインズ一番長岡選手。



一回裏、盗塁を決めるウインズ藤田選手。



センターフライを捕球するウインズ永淵選手。



センターへ抜ける打球にもう少しのパイレーツ白岩選手。



右中間へのヒットを決めるパイレーツ吉田選手。

青松園B 奈多サンデーズが最終回に粘りのドロウ

三苦ホーネッツ (5勝1敗1分) 3 1 0 0 0 0 4 矢野△-広木
奈多サンデーズ (5勝1敗1分) 0 0 1 0 0 3 4 塚本△-田中
3BH : 永島 (三苦ホ) 2BH : 土田 (奈多サ) 盗塁 : 大川2 (奈多サ)

互いに1敗同士、勝ち点も同じでお互い負けられない三苦ホーネッツ対奈多サンデーズ。序盤はホーネッツのペース。初回先頭山崎選手、二番稲葉選手の連打で無死一二塁。三番矢野選手のバンドが相手の失策を誘い2点先制。さらに1点を加え3点を先制する。二回も先頭、三塁打で出た永島選手を返し4-0とする。サンデーズは三回に先頭の川上選手が中前打で出ると三番秋山選手のタイムリーで1点を返す。その後、お互いランナーは出すものの決め手に欠きこのままホーネッツが逃げ切るかと思われた。最終六回裏、サンデーズの先頭野々下選手が相手失策で出塁、続く土田選手の二塁打で無死二、三塁、七番塚本選手の中前打で1点を返すと、八番鳥羽選手も中前打で1点差に迫る。九番木下選手の犠打で塚本選手が三塁に進むと一番川上選手の犠牲フライにて土壇場で同点に追いつきこのままゲームセットドロー。初回と最終回、対照的ながら同じようにチャンスに加点した実力伯仲の両チーム。納得のドローでした。(記事、写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



共に5勝1敗同士の対決！



先頭打者でヒットを放つホーネッツ山崎選手。



初回、連打で攻めるホーネッツ二番稲葉選手。



初回、2点目のホームに突入する稲葉選手。



豪快なフォームのホーネッツ矢野投手。



素早いバンド処理を見せるホーネッツ矢野投手。



三回裏反撃の一打を放つサンデーズ秋山選手。



際どい当たりを見事に捕球するサンデーズ川上外野手。



四回表、今季初ヒットに大喜びのベテラン塚選手。



五回表ゲッツー成立で反撃へ！鳥羽一塁手。



堅守のサンデーズ木下外野手。



五回裏、強烈なライナーを捌きドヤ顔の塚三塁手。



六回裏、反撃のタイムリーを放つサンデーズ塚本選手。



六回裏、1点差に迫るタイムリーのサンデーズ鳥羽選手。



六回裏、同点のホームインをするサンデーズ塚本選手。

雁レク軟式3 20-13の打撃戦、ライナーズが勝利!

雁ノ巣ライナーズ (7勝2敗) 4 2 5 9 20 有馬、鳥越、有馬○-鳥越、明瀬(旭)

奈多クラブ (6勝2敗) 2 5 3 3 13 吉田、今林(賢)●、今林(祐)-安河内

HR: 宇野、鳥越(雁ノ巣)、安部(健)2(奈多ク) 3BH: 宇野(雁ノ巣)

2BH: 明瀬(旭)、久保田、鳥越(雁ノ巣) 盗塁: 今林(祐)(奈多ク)

現在、首位の奈多クラブと同じ勝数で追う雁ノ巣ライナーズの試合となった。先発は奈多クラブ吉田投手、ライナーズ有馬投手。一回表、ライナーズは一番明瀬(旭)選手がヒットで出塁。二番明瀬(航)選手が四球を選び無死一二塁とすると、三番久保田選手がセンター前に弾き返し2点を先制。続く四番宇野選手が左中間を破る三塁打を放ち、この回一挙4得点。その裏、奈多クラブは二死から三番今林(祐)選手がセンター前で出塁すると五番安河内選手と六番砂場選手の連続タイムリーで2点を返す。二回表、ライナーズは押し出しと六番有馬選手のタイムリーで2点を追加で6-2とライナーズがリードするが、その裏、奈多クラブの反撃が始まる。一死満塁で三番今林(祐)選手がレフト前タイムリーを放つと四番安部(健)選手がセンターオーバーの満塁HRで5点を追加し、6-7と逆転!しかし、ライナーズも負けじと反撃。三回表、ライナーズは先頭の七番鳥越選手がヒットで出塁すると、奈多クラブ先発吉田投手は球が定まらず四死球と犠打で2点を献上。そして二死一三塁で四番宇野選手がセンターを高々と超える3ランを放ち、11-7と再びライナーズがリード。奈多クラブはその裏二死から四球とエラーで一三塁とすると四番安部(健)選手がこの日2本目となる左中間への3ランで3点を追加し11-10とライナーズを追い上げる。四回表奈多クラブはレフトを守っていた今林(賢)選手をマウンドに上げる。しかし、二死まで取ったものの制球が定まらず5四球とライナーズ三番久保田選手のタイムリーで5点を与え、今林(祐)選手に投手交代。しかし、六番有馬選手のタイムリーと七番鳥越選手が右中間3ランでライナーズは9得点。四回裏、ライナーズはエース鳥越選手をマウンドに上げる。奈多クラブも四死球と内野安打で3点を返すと、再び有馬選手がマウンドに上がり、四番安倍(健)を三振に打ち取りゲームセット。終わってみれば20-13と乱打戦の試合となったが、両チームともチャンスに打線がつながる見応えのあるいい試合だった。

(記事: 三友クラブ 駄原孝一郎、写真: 大坪和則)



奈多クラブ先発の吉田投手。



ライナーズ先発の有馬投手。



一回表、タイムリーを放つライナーズ久保田選手。



一回裏、センター前ヒットの奈多クラブ安河内選手。



一回裏、タイムリーヒットの奈多クラブ砂場選手。



二回表、レフト今林(賢)選手の好返球でタッチアウト。



二回裏、満塁HRを放ち笑顔で迎えられる安部(健)選手。



三回表、高々とセンターを超えるHRを放つ宇野選手。



三回表、レフト方向への素晴らしい打球を放った国崎選手。



貸してもらえたミットが合わず自分の感覚にこだわったライナーズ鳥越捕手。



この日2本目の中越えHR、奈多クラブ安部(健)選手。



巧みに四球を引き出したライナース今林貢選手。

青松園A 明暗を分けた5回の攻防!三球会主軸に軍配!!

レッドサンデーズ (4勝3敗) 001000 1 江口●ー荒口

三苦三球会 (5勝2敗) 001140 6 吉留○ー藤澤

3BH : 浜口 (三球会) **盗塁** : 砂場、江口2、八島 (レッド)、塚 (和) (三球会)

4勝2敗同士で上位陣を脅かす好ゲームが予想される中、レッドサンデーズ江口投手、三球会吉留投手のエース対決で試合開始。一回表、レッド二番江口選手がショートエラーにて出塁すると、二死から四番八島選手のセンター前にて一三塁の得点チャンスを掴むが無得点。一回裏三球会は、二番藤澤選手の痛烈なファースト強襲ヒットで得点チャンスを掴むが後続が倒れ得点ならず。三回表レッドサンデーズは、ベテラン稲又選手のセカンド内野安打にエラーも絡み無死二三塁の絶好のチャンスで、江口選手が期待通りライト前ヒットにて先取点。続くクリーンアップに一打を期待したが吉留投手の前に凡退。三回裏、三球会は、八番原口選手が技ありセンター前、続く渡辺選手が送りバント、大津選手凡退のあと、二番藤澤選手の鮮やかなセンター前ヒットで同点。四回表レッドサンデーズは、エラーから出塁するが無得点。一方の三球会は、四番塚太一選手が四球で出塁し盗塁を試みるが、荒口捕手がこれを刺す。続く浜口選手が内野エラーで出塁し、塚達也選手の送りバントのあと、七番上山選手が粘って三遊間ヒットを放ち逆転に成功!!何とかしたいレッドサンデーズは一番から始まる好打順にて五回表を迎える。しかし吉留投手の前に主軸打者が2三振となり得点できず。明暗を分けた五回裏、三球会も主軸に回る好打順で、九番渡辺選手がセンター前ヒット、WPの間に二塁、内野ゴロの間に三塁へ進み得点のチャンス到来。ここで三度藤澤選手が三打数三安打となる強烈なピッチャー強襲ヒットにて追加点!勢いの出た三球会は続く塚和彦選手のライト前、浜口選手の左中間に飛ぶ三塁打、塚達也選手のセンター前でこの回4点追加!勝負ありと思える攻撃だった!最終六回表のレッドサンデーズの攻撃も、内野エラーにて出塁はするもののあと一本がはずれ、試合終了。終わってみると、レッドサンデーズは1エラー、三球会は6エラーがあり、レッドサンデーズの出塁機会はあったものの、その後に攻めきれず吉留投手の前に三安打1点止まりという結果になった。

(記事: ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真: 井手翔一郎)



一回表、レッド八島選手が中前ヒット後すかさず盗塁。



一回裏、三球会二番藤澤選手の痛烈な強襲ヒット。



三回表、稲又選手のセカンド内野安打。



三回表、自らのバットにて先取点の江口投手。



三回裏、追う三球会原口選手のセンター前ヒット。



四回裏、勝利を呼び込む三遊間ヒットの上山選手！



五回裏、追加点の足掛かり渡辺選手のセンター前ヒット！



五回裏、本日3安打目の藤澤選手！



更に追加点の堺達也選手のセンター前ヒット！



安定したピッチングの三球会吉留投手。



勝利打点男、上山選手！照れながらも撮影に応じてくれました！

第15週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第15週、8月17日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの新町パイレーツ対新町ウインズ戦は、ウインズ一番長岡選手がいきなり三塁打でチャンスを作ると、エラーや五番藤田選手のタイムリーなどで3点を奪い、優位に試合を進める。しかしその後6安打を放つもパイレーツの守備陣に阻まれ無得点。パイレーツは四回裏、ノーヒットで2点を挙げ、迎えた最終回吉田選手の三塁打とエラーで3-3の同点に。ウインズは残塁が9もあり、決定打を欠いた上に、大事なところで守備陣が乱れるなど勝ちゲームを自ら失う結果となった。一方パイレーツは幸運な形で負けを回避。両チームとも勝率5割をキープすることとなった。

青松園Bの三苦ホーネッツ対奈多サンデーズ戦は、サンデーズの塚本投手から得意の機動力を使って初回到3点、二回にも1点を奪ったホーネッツがこのまま逃げ切るかと思われたが、さすが昨年の覇者サンデーズは、三回表に秋山選手のタイムリー、最終六回表にはエラーから六番土田選手、七番塚本選手、八番鳥羽選手の三連打に一番川上選手の犠牲フライで同点に追いつき盛り上がる。負け試合をサンデーズにとっては価値ある引き分けに。ホーネッツにとっては痛すぎる引き分けと、リーグを牽引する両チーム共の決着はつかなかった。現在打率10傑に4人顔を出すホーネッツの足を使った「機動破壊」打線は脅威。

雁レク軟式3の雁ノ巣ライナーズ対奈多クラブ戦は、壮絶過ぎる打ち合い。本塁打4本が飛び出し、両チーム毎回得点の結末は、エースを欠いた奈多クラブが最終回に競り負け、20-13と痛い2敗目。共に強力な打線を誇る両チームのノーガードな打ち合いは、ライナーズ9安打、奈多クラブ12安打だったが、与四死球の差(ライナーズ5、奈多クラブ13)が結果に直結した。

青松園Aのレッドサンデーズ対三苦三球会戦は、一回表レッドは、二死二塁から四番八島選手がセンター前を放つが打球が強すぎてランナー生還できずチャンスを逸すると、三回の二番江口選手のタイムリー以外ランナーは出すもののあと一本が出ない。一方三球会はもたつくレッドに三回裏二番藤澤選手のタイムリーで追いつくと、四回裏に上山選手の三遊間タイムリーとどちらも二死から得点を奪う。そして五回裏ヒット5本を集め一気に突き放し、1-6で逆転勝利。投げては三球会吉留投手が微妙にタイミングを外す効果的なライズボールと絶妙な

コントロールでレッド打線をを2安打に抑えるナイスピッチング。二番藤澤選手は3打数3安打の猛打賞とナイスリードで勝利に貢献した。

夏の甲子園大会もいよいよ大詰め！今年はどこが優勝するのでしょうか？

今年のWSLは、1敗のチームも消え、どのチームが抜け出すのか、いや踏みとどまるのか予想も出来ません。

一方、未だ未勝利のブルーマーリンズ、フレンズ、ジャガーズは早く1勝が欲しいところ。

ジャイアントキリング（大物食い）をして、あっと驚かせてほしいです。